

経済社会学会第 51 回全国大会のご案内

大会準備委員長 内山隆夫（京都学園大学）

第 51 回全国大会は、2015 年 9 月 26 日（土）、27 日（日）に京都学園大学・京都太秦キャンパス（京都市右京区に 2015 年 4 月開設）にて開催します。大会テーマは下記の通りです。準共通論題および自由論題の報告者を広く募集しますので、以下の募集要項に従ってお申し込みください。

1. 大会テーマ

「幸福の経済社会学」

2. テーマ設定の趣旨

我が国でも 1970 年代半ば頃から社会指標が作成され、経済成長の負の側面にも注意を向けつつ、国民生活の「豊かさ」を測定する指標づくりが進められてきました。その後、成熟社会に移行する中、人びとは人間関係それ自体に大きな価値を見だし、あるいはワークライフバランスを志向するなど「生活の質」を重視するようになりました。

国民のこうした関心の変化に関連して近年では、主観的な幸福感を分析対象にした「幸福度研究」が世界的に注目されています。国連も 2012 年 6 月に、3 月 20 日を「国際幸福デー」と定め、我が国政府も 2011 年 12 月に、「幸福度に関する研究会報告—幸福度指標試案—」を発表しました。京都の経済界でも、（一社）京都経済同友会が「幸福会計」を作成し、最初の国際幸福デー当日に「京都幸福会議 2013」を開催し、「幸福が実感できる」まちづくりに取り組んでいます。

第 51 回大会では、誰もが希求する「幸せな生活」を巡る諸問題について、哲学や倫理学、さらには経済学や社会学など多面的・複眼的な観点から考察し、幸福度研究の新しい地平を切り拓くことができれば、と思います。

3. 準共通論題および自由論題の報告について【募集要項】

（1）報告の申し込み、締め切り、結果の通知

・申し込み

Eメールのタイトルを「経済社会学会報告申込（氏名）」として、氏名、所属、Eメールアドレス、連絡先住所、電話番号（可能なら携帯電話番号）を示し、「報告の概要」（600 字程度、目的・方法・考察・結論を明示した内容）を添付して、本要項末に記載のメールアドレスまでお申し込みください。

- ・締め切り

2015年 ~~4月30日(木)~~ 5月24日(日)

- ・結果の通知

報告希望の採択決定は、提出された「報告の概要」をプログラム委員会にて検討のうえ、東西合同役員会開催後6月上旬に連絡します。報告日時および座長・予定討論者は6月下旬頃にお知らせします。

報告希望を提出した後は、原則として、論題および報告者の変更・追加はできません。

- ・会費納入について

今年度(2014年9月~2015年8月)までの会費を完納していることが報告の前提条件となります。当該年度会費が未納の方には、本案内とともに会費請求書と払込用紙が同封されています。

現在非会員の方は、4月末までに入会手続きと会費納入を完了してください。入会手続きおよび会費納入先については、当学会HPをご覧ください。またその際、報告希望のメールに、入会手続き中である旨を明記してください。

経済社会学会 HP 「入会」 <http://web.waseda.jp/assoc-soes/join>

(2) 報告要旨集の原稿

採択された方は2015年7月5日(金)までに、以下の書式に従いEメールにて大会当日配付用要旨集の原稿を提出してください。

A4版4ページ以内(図表含む)、Word文書、フォントMS明朝10.5ポイント、改行幅1行、ページ番号なし、余白上下左右30mm、論題1ページ上段中央、氏名(所属)は次の行右端

(3) 発表原稿の提出

発表原稿(フルペーパー)は8月31日(日)までに、座長・討論者・大会準備委員長にそれぞれご送付ください。分量と様式は自由です。

(4) 問い合わせ、提出先

京都学園大学 経済経営学部

経済社会学会 第51回全国大会事務局 (担当:平田)

615-8577 京都市右京区山ノ内五反田町18

075-406-7000(代)

soes-51st@kyotogakuen.ac.jp